

今後の取り組みの方向性について（素案）

（現状と課題）

- ・富山県民の健康寿命については、平成 25 年度時点において、男性が 70.95 歳（全国 31 位）、女性が 74.76 歳（同 14 位）となっており、平均寿命との間に男性で 9 年、女性で 12 年ほど差がある。
- ・近年、がんや脳卒中、心疾患など生活習慣病が大きな問題となっており、県民一人ひとりの個人の生活の質を低下させるとともに、医療費の増大を招き、働く世代の負担増にもつながるなど様々な課題を抱えている。
- ・一方、いつまでも健康で安心した生活が続けられる幸せな富山県を実現することは、すべての県民の願いである。そしてその願いの実現のためには、一人ひとりの健康に関する問題は、社会全体の問題であるとの認識のもと、県民一人ひとりのもとより社会のあらゆる主体が協力しあい、健康寿命の延伸に向け、ライフステージに応じた取り組みを推進することが重要である。

（今後の取り組みの方向性）

一人ひとりが自ら健康づくりに取り組むとともに、家庭、学校、職場、地域社会、行政などが一体となり、それぞれの立場で創意工夫をこらし、運動（身体活動）、食生活の改善（栄養）、社会参加（交流）の 3 つの取り組みについて、県民総ぐるみの運動を一層積極的に進めていく。

- 県民一人ひとりが、運動（身体活動）、食生活の改善（栄養）、社会参加（交流）の取り組みを積極的に実践
- 経済団体 「健康経営」の趣旨を理解し、健康診断の受診率の向上や健康づくりの取り組みを推進するなど従業員の適切な健康管理を実施
- 医療保険者 健康づくりに積極的に取り組む被保険者に対し、インセンティブを付与するなど健康の保持増進、疾病予防のための仕組みの充実
- 医療関係団体 疾病の重症化予防のため、かかりつけ医と専門医療機関等の連携の推進
- 健康関連団体 それぞれの専門性を活かした活動を通じ、県民の健康づくりを支援
- 各種地域団体 自主活動や身近できめ細やかな健康情報の地域住民への提供などを通じ、地域の健康づくりを推進
- 学校 児童や生徒、学生が生涯を通じ自分の健康を自分で管理、改善していくための資質や能力を育てるため、発達段階に応じた健康教育を実施
- 行政 県、市町村、学校、企業、関係団体等と連携し、県民一人ひとりが健康づくりに取り組むための支援・環境整備